

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び  
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成  
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築  
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成  
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 山口県 】

1 実践テーマ	【 I・V 】
2 実施対象者	柳井市立柳東小学校 第5学年 49名 第6学年 35名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 体育 ) ② 行事名 ( ) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピックの体験やエピソードを聞くことで、東京で開催されるオリンピック・パラリンピックへの関心を高め、夢を抱くことの素晴らしさを感じる。</li> <li>・オリンピックからハードル走におけるポイントを教わり、実践することで、ハードル走への興味・関心を向上させる。</li> </ul>
5 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学習                      事前にオリンピックの歴史やマスコットに込められた思いなどを学習し、オリンピックへの理解を深めた。</li> <li>・陸上教室                      ハードル走において欠かせない柔軟性を向上させるためのストレッチ、踏切のタイミング、正しい空中姿勢についての指導を受けた。また、実際に成迫さんにハードルを走り越す姿を見せてもらい、オリンピックの生の動きに学んだ。</li> <li>・事後学習                      10月に開催した陸上記録会に向けて、オリンピックから教わったポイントを生かしながら体育の授業に取り組んだ。</li> </ul>
	 

<p>6 主な成果</p>	<p>オリンピックからハードル走の指導を受けたことで、多くの児童がリズムカルに走りながら正しい空中姿勢でハードルを走り越すことができるようになった。それに伴って記録も向上し、友だちと競いながら走ることを楽しむ姿が多く見られた。</p> <div data-bbox="450 250 1075 976" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">5・6年生事前アンケート</p> <p style="text-align: center;">■思う ■だいたい思う ■あまり思わない ■思わない</p> <p>運動やスポーツをすることは好きですか。</p> <p>これからも進んで運動やスポーツをする時間をもちたいですか。</p> <p>経験したことのないスポーツに挑戦してみたいですか。</p> <p>東京オリンピック・パラリンピックに興味はありますか。</p> <p style="text-align: center;">0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <hr/> <p style="text-align: center;">5・6年生事後アンケート</p> <p style="text-align: center;">■思う ■だいたい思う ■あまり思わない ■思わない</p> <p>運動やスポーツをすることは好きですか。</p> <p>これからも進んで運動やスポーツをする時間をもちたいですか。</p> <p>経験したことのないスポーツに挑戦してみたいですか。</p> <p>東京オリンピック・パラリンピックに興味はありますか。</p> <p style="text-align: center;">0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> </div> <p>児童から「中学生になったら陸上部に入りたい」という声が上がった。アンケート結果を見ても分かるように、児童の運動への興味・関心が高まる貴重な体験となった。2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックへの関心が高まっていることも大きな成果である。</p>
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<p>多くの児童がオリンピックとかかわることができるように、陸上教室を5年生の部と6年生の部に分けて行った。オリンピックから個別指導を受けながらハードルを走り越すことで児童がたくさんの技術を吸収することができた。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>児童は、オリンピックから実際に走る姿を見せてもらったり、技術指導を受けたりしたことで、スポーツ選手への憧れが一層高まった。そして、自分にもできる可能性があるという意識を抱くことができた。</p> <p>今後は児童の可能性を引き上げられるように、教員の指導力向上に努める必要がある。また、教員自身も児童に夢を与えられるよう、資質を磨くことが大切である。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>オリンピックとのふれあいは、児童が運動をすることが好きになったり新しいことに挑戦したりするきっかけとなる、素晴らしい経験になった。機会があれば、今後も同様な事業に積極的に取り組んでいきたい。</p>